

市議会議員
かけのまち子

電話/Fax 53-7727
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員
みわ 陽子

電話/Fax 54-6712
yokko0520mi@yahoo.co.jp



NO. 472 2020.11.19
日本共産党江南市委員会

あすの江南

前市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753
前市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

* 困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP



検索

もうすぐ12月定例会

理念なき事業スクラップでは 市民サービス・福祉を守れません

主な予定議案

1. 人事院勧告に準じ、市職員や議員、市長など特別職のボーナスを0.05か月分引き下げる条例改正
2. 1.の改正に伴う補正予算（人件費1億2,152万円の減額）
3. 下水道事業経営審議会を新設する条例制定

下水道料金の値上げ案を検討する審議会を設置

下水道事業は今年度から公営企業会計に移行しました。より効率的で持続可能な経営が求められるとして、中長期的な経営の基本方針「下水道経営戦略」（計画期間10年）の策定が進行中。12月～1月のパブリックコメントを経て策定となります。

「下水道経営戦略案」では、下水道事業の黒字化を求める国方針に沿って、一般会計からの繰入金削減の方針です。繰入金の削減は、下水道使用料金の大幅な値上げに直結します。

戦略案は、現在の使用料単価120円/m³を4年ごとに段階的に見直し165円/m³にまで引き上げるスケジュールを描いています。この使用料見直し（値上げ）案などを検討する場が、12月定例会に設置条例が上程される下水道事業経営審議会。学識経験者2名、各種団体代表4名、公募市民2名、市議会議員2名の合計10名の委員構成です。



上水道も基幹管路更新工事の財源確保のため、すでに連続値上げ計画があり、下水道まで値上げとなれば、上・下水道料金の交互の連続値上げで市民から悲鳴が挙がるのは必至です。

4. 一般会計補正予算（主な歳出は）

- 生活困窮者住居確保給付金の、申請者増加による予算の倍増 1,202万円
 - 南部学校給食センター雨漏りで、屋上防水工事 327万8千円
 - マイナンバーカード申請増で会計年度任用職員1人増員 94万2千円
- 10月末で、江南市民へのカード交付枚数は19,414枚（交付率19.4%）
- 古北保育園の空調設備改修のための設計委託料 501万6千円

- 11月26日（木）開会、議案上程、即決議案の採決
- 12月1日（火）～3日（木）一般質問
- 12月7日（月）議案質疑
- 12月8（火）9日 総務委員会審査
- 12月9（水）10日 建設産業委員会審査
- 12月10（木）11日 厚生文教委員会審査
- 12月16日（水）最終日、委員長報告、討論、採決

* 正式な日程や議会傍聴の可否は、11月19日の議会運営委員会で決定されます。
* 党議員団の一般質問項目は未定です。ご意見ご要望をお寄せください。

事業スクラップ&ビルドの中間報告は出たけれど… 市民負担増、サービス後退めじろおし

11月12日の全員協議会で、深刻な市の財源不足に対処するための事業スクラップ&ビルドの中間報告がありました。最終報告は12月17日。

一般財源8億円の事業スクラップの目標に対し、中間報告のスクラップ額は約6億円。

中味は心配したとおり、正規職員5名の削減や、木賀公園コミュニティプールの廃止、低所得者のヘルパー利用料半額助成の廃止、国民健康保険特別会計への繰り出し金の削減、心身障害者扶助料の支給要件見直し、がん検診自己負担金の見直し、中学生海外派遣事業の休止など、市民負担増と市民福祉の後退につながるものが並びました。

行事関係では、こどもフェスティバルや健康フェスティバル、消費生活展などの廃止、環境フェスタの休止、敬老会の式典廃止（記念品郵送へ変更）と大ナタ。

金額の大きな政策的事業では、事業の先送り、起債（借金）への財源変更、新ごみ処理施設整備の積立金減額など、後年度に負担を先送りするものが大半で、不要不急事業の根本的見直しにはなっていません。

それでも、毎年約10億円の財源不足が生ずる見込みとして「経常的事業の更なるスクラップと政策的事業の見直しが必要。新規事業の採択は困難」と報告をまとめています。

これまで実施してきた特に大型事業に問題があったことは明らか。鉄道高架関連事業で名鉄にしっかりと負担を求めていくのはもちろん、過大な道路整備、大型事業の縮小・中止など、コロナ禍で痛めつけられた市民の暮らしを支え、市民サービスの向上を図ることを最優先に、知恵を絞ることが必要となっています。

良かったね

学童保育 来年度から 春夏冬休みの利用で 6年まで対象拡大

学童保育の対象学年が、来年度から、夏休みなど長期学校休業日の利用に限り6年生まで拡大されます。（現在は4年生までの利用）学童保育を考える会の皆さんや日本共産党議員団が繰り返し要求してきた要望がようやく実現します。

整備中の布袋北学童保育施設は今年末までに完成。すし詰め状態の古北学童保育は、来年度末に完成する古北複合公共施設内へ移転の予定です。

これらの施設整備に合わせた対象の拡大となりますが、市は拡大する5,6年生の保護者については就労要件を「4週間平均16日以上」から「4週間平均20日以上」に厳しくする方針です。

利用できなくなってしまう家庭が出ることも想定されるため慎重な対応が必要です。